

<下水道について>

下水道は、環境教育素材の宝庫と言えます。

下水道は、都市内で使用されて汚れた水を集めて処理し、浄化したのちその水を川や海に返すという役割と、都市に降った雨をあつめて川や海へ返すという、大きな水循環の一部を担っています。水という視点で環境問題に直結していることから、環境意識を高めるという点でイメージしやすい素材です。

役割だけでなく、個別の要素としても素材の宝庫です。例えば、皆さんの家からの排水（下水）の処理では、川の中でおこなわれている自浄作用と同じ、微生物の働きが利用されており、下水処理場で実際に目に見える形で微生物の働きを実感していただくことができます。



また、近年の地球温暖化問題や循環型社会への対応についても、下水処理の過程で発生する下水汚泥を発電燃料やガスとして供給しCO₂を削減したり、レンガや肥料などに再利用する資源リサイクルを進めたりしており、それらを実際に下水処理場などで見て実感することができます。

下水道は、都市の環境改善や水質の保全だけでなく、地球温暖化対策や良好な水環境の回復、資源・エネルギー循環など、環境に対して多様な役割を果たしています。下水道は身近な存在であり、生活環境から地球環境までの幅広い環境問題にも関わっていることから、下水道が環境教育に果たす役割は非常に大きいと考えています。

次世代を担う子供たちの教育を担う教職員の方々に、出前講座で下水道の理解を深めていただき、実際の授業に活用して頂ければ幸いです。